

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b>	ヘルスパイオニアタウン事業（短期人間ドック助成事業）
-------------------	--------------	----------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	1	成人及び老人保健の充実
主要な施策	1	各種検診の充実と受診率の向上
事務事業番号	004	事務事業コード 12211004 事業開始年度 平成 元 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	国民健康保険特別会計	予算書上の事務事業名	短期人間ドック助成金
------	------------	------------	------------

部 名	保健福祉部	グループ名	国保・医療給付 G
-----	-------	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p style="background-color: #ffffcc;">（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください）</p> 20歳以上、40歳未満の登別市国民健康保険被保険者（原則として、保険税滞納世帯を除く） なお、40歳以上の被保険者の短期人間ドックについては、特定健康診査とみなし、特定健康診査の扱いで位置づけている。
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください）</p> 短期人間ドックを受診した被保険者に対し、受診料の一部を助成する。 ・胃バリウム実施機関 ～ 検診料金36,750円の内、市補助金：34,250円・本人自己負担額：2,500円 ・胃カメラ実施機関 ～ 検診料金39,900円の内、市補助金：36,900円・本人自己負担額：3,000円
目指す姿（成果）	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください）</p> 短期人間ドックを受診することにより、疾病の早期発見・早期治療につなげる。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください）</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標		円	目標値	2,758	2,758	2,758	2,758	2,758
			実績値	2,774				
			目標値					
			実績値					

## 事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称 国民健康保険税	千円	825	1,068	1,068	1,068	1,068	3,204
	一般財源	名称	千円						0
合 計				825	1,068	1,068	1,068	1,068	3,204
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	793	346			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	102			
			合 計		793	448			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

### 1. 事務事業の妥当性について

今後も市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である	→	妥当である理 由、妥当ではな い理由は何です か？	短期人間ドックについては、受診しやすい環 境づくりが重要であることから、市が検診料金 を助成することは妥当である。
		妥当ではない			

### 2. 事務事業の成果について

成果があがって いますか？	→	成果があがっている	→	成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか？	短期人間ドックにより、疾病を早期発見・早 期治療につなげることができる。
		どちらかといえばあ がっている			
		成果があがらない			

### 3. 事務事業の成果向上について

成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる	→	どのよう にして 向上させ ますか？ 向上させ ることが できない理 由は何 ですか？	短期人間ドックや各種健診等について周知し たリーフレットを、広報折込として全戸配布す ることで、受診につなげることができる。
		少し向上させるこ とができる			
		向上させることはで きない			

### 4. 事務事業の経済性・効率性について

成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減す ることはでき ますか？	→	削減できる	→	どのよう な方法 でコスト を削減 しますか？ 削減でき ない理 由はなん ですか？	これ以上経費を削減することは、受診者の自 己負担額をあげることになり、受診率の低下 につながるため、削減は難しい。
		削減できない			

## 担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	短期人間ドックは、疾病の早期発見・早期治療につながるため、事業を維持してい く。
-----------	----------------------------------	---

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）